

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第12回西脇市総合計画審議会
開催日時	平成31年3月15日（金） 午後7時から8時30分まで
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター ホール
出席委員の 氏名又は人数	14名
欠席委員の 氏名又は人数	4名
出席職員の職・ 氏名又は人数	市長・事務局4名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	なし
議題又は 協議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 総合計画・基本計画（案）に係るパブリック・コメントの実施結果について</li> <li>2 総合計画策定に係る答申（案）について</li> <li>3 西脇市総合計画の策定について（答申）</li> <li>4 その他</li> </ol>
会議の記録（概要）	
発言者	<p>&lt;開会&gt; 資料確認</p> <p>&lt;あいさつ&gt; 年度末の押し迫った時期の会議にもかかわらず多数の参集をいただき、御礼を申し上げます。総合計画についての検討は本日で一区切りとなる。これまで長期間にわたる熱心な議論に改めて感謝する。現在開催中の市議会における予算編成等において、この計画が役立つことを期待する。 人口減少や少子高齢化をはじめ課題は山積しているが、ここで定めた将来像を目指して、委員の皆さんにも行政に</p>
事務局	
会長	

	<p>も尽力をお願いしたい。</p> <p>本日は、まずパブリック・コメントの結果を報告いただき、さらにこれを踏まえて答申案を確認したい。また、最後に本審議会に参加しての感想等をいただきたいと思いますと考えている。</p> <p>なお、本日は14名の委員に出席をいただいております、審議会条例第5条3項の規定により定数を満たしており、会議が成立していることを報告させていただきます。</p> <p>&lt; 1 総合計画・基本計画（案）に係るパブリック・コメントの実施結果について &gt;  事務局長 資料1に基づき、事務局から説明</p> <p>会長 本件については、事務局から事前に資料配布し、意見照会を行っている。特に意見はなかったと報告を受けているが、原案のとおりで了解としてよいか。</p> <p>（委員了承）</p> <p>&lt; 2 総合計画策定に係る答申（案）について &gt;  事務局 （資料2に基づき事務局から説明） &gt;  事務局 資料2に基づき、事務局から説明</p> <p>会長 前回の提案に対して各委員から修正意見等をいただき、それを踏まえて改めて答申（案）を作成している。別紙「計画本体」についても、これまでの検討の中で、皆さんの意見を反映して作成されたものである。</p> <p>これについても、事務局から事前に資料配布し、意見照会を行っている。特に意見はなかったと報告を受けているが、意見・質問はあるか。</p> <p>会長 本日を合わせて12回の全体審議会、7回の部会を開催してきた。これまでの成果を踏まえて答申案を提示したが、最後に審議会として改めてお諮りしたい。答申案について本案でよろしいか。</p>
--	--

<p>会 長</p>	<p>(委員了承)</p> <p>答申案について了承をいただいたので、これを正式な答申とする。</p>
<p>事務局</p>	<p>&lt; 3 西脇市総合計画の策定について (答申) &gt;</p> <p>2年間の長期にわたり、熱心に議論をいただき感謝を申し上げます。それでは北原会長から市長に答申書を渡していただきたい。</p> <p>(会長から市長へ答申)</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は総合計画策定の締めくくりの会議となる。各委員から、審議会に参加しての感想、あるいは今後のまちづくりに対する期待等について自由に御発言をお願いしたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>2年後には市庁舎も新しくなる。大人も、そして子どもも、このまちを離れることなく暮らしていけるようにしていかなければいけない。そのためには、総合計画に基づいて、仕事がしやすいまちづくり、子どもが健やかに育つまちづくりを進めていく必要がある。私も自分でできることに取り組んでいきたいし、行政にも計画の推進をお願いしたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>総合計画は、理想を語り、抽象的な表現に留まっている部分もある。日本全体の流れをみると、国は地域住民の主体性に期待している、と考えている。西脇市も地域住民が活躍する場づくりを進めていくことが必要である。「住民が明るく、元気に、いきいきとしたまち」をつくるための計画が総合計画だと思う。私自身、地域自治協議会の一員として、今後もまちづくりに参加していきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>総合計画は西脇市の精神的な目標であり、毎年進捗をチェックし、市民の声を聞きながら、進んでいない部分には力を入れて進めることになる。</p> <p>全ての市民が 100%満足できる計画はありえない。市民</p>

	<p>も辛抱するところは辛抱し、人と人のつながりを大事にして、助け合うような暮らしを進めていく必要がある。計画は計画として必要であるが、市民同士が助け合う方向でまちづくりを進めたい。</p>
<p>委員</p>	<p>民間企業に30年勤務し、18年前にUターンしてきた。当時はマルチメディア部門で仕事をしていたが、業務内容は広告や労務であり、これが今の仕事に役立っている。</p> <p>総合計画に農林業の基盤強化に関する記載があるが、私個人としては多様な担い手づくりに関心が集中した。農地の制度的な制約もあるが、若い担い手の育成が最大の課題だと考えている。専業農家で所得税をきちんと納めて、業（なりわい）として生活できる人を育成したい。そして私もそれにできる限り協力していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>2年間、様々な分野の方からいろいろな意見を聞き、とても勉強になった。</p> <p>私も自分でできる範囲のことから取り組んでいきたい。また、住んでいる地域で積極的に助け合いに取り組み、皆さんとの輪を広げていきたい。</p> <p>医師会の事務局として、先生方にももっと積極的にまちづくりに参加してもらえるよう、取り組んでいきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>この責任ある審議会に一市民として同席させていただき、大きな経験・勉強になった。この総合計画により、将来の西脇市が少しでも安心・安全で明るい住みよいまちになることを期待する。</p> <p>これまでまちづくりには無関心なところもあったが、今後はボランティアなど、進んでまちづくりに参加していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>まず反省を述べたい。市民アンケートの性別に関する設問で、男女以外に「その他」を設けるべきか否かという議論があった。その時には、私が関わっていた人たちの意見として「気持ちで判断するだろう」と発言したが、その後、LGBTの人と話をしたところ、「自分たちは気持ちで性別が決められるが、気持ちが揺らいでいる人や男女両性の機能を持つ人もおり、そういう人は「その他」の欄があると、実施者は自分たちのことを分かってくれていると感じ</p>

	<p>る」という意見だった。また、性別を空欄にしてはどうかという意見もあった。</p> <p>アンケートの項目だけではなく、計画策定には、こうして議論をするプロセスが大事だと感じた。このようなプロセスがあって結果（計画）がある、ということ、計画ができてからも大切にしていきたい。この会議でいろいろな勉強ができた。今後も宜しく願います。</p>
<p>委員</p>	<p>改めて計画及び答申をみて、重厚かつ内容の深いものとなったと感じる。また、きめ細かく、大胆な政策ができたことをうれしく思う。この計画が市長のもと、着実・迅速に進められることを期待する。</p> <p>委員の一人として参加し、80歳にしてよい勉強をさせてもらったが、私自身も皆さんのお役に立てるよう、今後も頑張りたい。</p>
<p>委員</p>	<p>当初は委員の顔ぶれをみて、場違いなのではないかと悩んでいたが、回を重ねるごとに理解が進み、勉強になった。これまでは仕事と子育てばかりで、まちのことを何も知らなかったが、話を聞く中で市役所の大変さなども理解できた。</p> <p>とにかく勉強してここまで皆さんと議論をしてきたが、今後もっと学ばなければいけないと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>第1次総合計画の策定の時から関わらせてもらい、前は資料を読むだけで大変だったが、今回は余裕ができ、楽しく参加できた。部会などでも言いたいことも言わせてもらえた。</p> <p>今回うれしかったのは、キャッチフレーズづくりの議論に参加させてもらったことで、我々が考えた将来像が冊子の冒頭に掲載されているのは、委員冥利に尽きる。</p> <p>これはお願いになるが、計画の中身をみると、全てを行政だけでやり切るのは、財政的にも人的にも難しい部分もあるだろう。実施に当たって壁があるかもしれない。そんな時には、住民や民間の協力を積極的に得てほしい。市長は住民目線と行政目線の両方をお持ちなので、よい舵取りができると思う。</p> <p>また、市民に計画が披露されたとき、「難しくてわからない」という人もいると思う。私自身、出会う多くの人に</p>

<p>委員</p>	<p>計画の意味や意義を伝えられる媒介人でありたいと思う。</p> <p>会議の全てに参加できなかったのは残念だが、勉強になった。たくさんの会議を重ね、ワークショップなども開催されるなど、市民意見の丁寧な把握に努め、市民の方々と一緒になって作り上げられた計画になっていると思う。</p> <p>パブリック・コメントについては、どうすれば増えるかというのは永遠の課題だが、数が少ないのは「良いものをつくってくれた」という信頼の証なのかもしれない。</p> <p>西脇市のように参画・協働の条例を有する自治体は県内で半分程度にとどまり、市民活動を支援する交付金制度を持つ自治体も多くはない。市民と協働で進めるのが計画であり、兵庫県でも人づくりを中心に、自然・歴史遺産を活用した取組を支援している。西脇市の活性化につながる取組と連携した活動を進めたい。</p>
<p>委員</p>	<p>行政の立場でお話しさせていただく。2年間の長期にわたる審議会に参加いただき、感謝する。</p> <p>私は行政に務めて40年になるが、これまでで今が最も苦しい時代だと感じる。かつては投資すれば成果がみえた。少子高齢化が進行し、今は手を打っても成果があるかどうか分からない、という状況になっている。こうした中、総合計画をひとつの拠り所としながら、子どもたちに何を残せるかが大きな課題の一つではないかと考えてきた。まちを良くするのは我々の使命だが、行政だけでそれが実現できる時代ではない。市民と一緒に取り組んでいくという意識が不可欠であり、いかに協働していくかが重要だと感じている。</p> <p>委員の皆さんには、今後も宜しくお願いしたい。</p>
<p>副会長</p>	<p>連合区長会という立場で様々な委員会等に参加しているが、この総合計画が各計画の柱になる。</p> <p>ただ、各区長は1～2年で交替し、計画のことが分からないというケースも多い。計画の内容をどのように伝えれば、市民と行政による計画の具体化につながるか、が課題だと思う。</p> <p>また、平成最後の中学校の卒業式は3クラスになった。0歳児は100人くらい減少しており、大変な状況を迎えている。時間をかけて、本気になってみんなで取り組まなけ</p>

<p>会 長</p>	<p>ればいけない。「市役所は何もしてくれない」という人も いるが、我々自身が計画推進をフォローしていく必要がある。 それがうまくできれば地域も盛り上がるであろうし、 できなければ地域が動いてくれない。</p> <p>心身の年齢は、昔と比べて10歳くらい若くなっているとい う話も聞く。65歳の定年後、そういう意識で年長の人間 も頑張れば、まちもよくなっていくと思う。</p> <p>皆さんの感想をお聞きして、大きな期待を持った。</p> <p>市外の住民として参加であったが、この会議を通じて、 私自身も西脇のことを勉強し、新しいことを考える機会を 得た。</p> <p>副市長が指摘されたように、地方都市にとって非常に難 しい時期にあると思う。地方分権が進んでいるが、これは 同時に責任も持たなければいけない。このため、地域で何 を目指すのかがますます重要になっている。策定した計画 が形骸化することも少なくないが、近年は計画に基づく行 政執行が求められており、計画づくりは重要性を増してい ると考えている。</p> <p>総合計画は行政の指針だが、市民参画による計画策定が 重要である。現状の分析・共有や将来の構想づくりに市民 が参画することで、計画そのものが意義あるものになる。 今の時代は昔のように全国共通の指針もなく、計画の中で 目標、道筋をつくっていかなければいけない。今回、それ が提示できたのではないかと思う。</p> <p>計画は策定するだけでなく、進行管理が重要である。 市民によるチェックが行われなければ、計画の進捗が市民 には分からないものになる。市民組織でチェックする仕組 みが重要である。</p> <p>都市やまちは我々が生きる場であるが、同時に我々が つくるものでもある。遊ぶ、仕事をする、参加するといった 日常的な活動そのものが都市を形成する要素である。そう いう意味では計画に定める活動も都市形成につながるもの であり、その点をしっかり意識して計画の策定・推進に取 り組んでもらいたい。</p>
<p>市 長</p>	<p>2年間の長きにわたって総合計画の策定に取り組んでい ただき、感謝申し上げます。市民の皆さんはもちろん、学識 者としての立場、また県の立場からも御意見をいただき、</p>

合わせてお礼を申し上げます。

総合計画はまちづくりの羅針盤となる。いろいろな活動において、常にここに立ち返って、目指すまちの姿を考えるようにしたい。

皆さんの意見をお聞きしていると、皆さんのような市民がいることこそが、まちの希望につながると感じた。皆さんの期待を行政として受け止め、取り組んでいきたい。

近日、読売テレビ（世界一受けたい授業）に出演予定の筑波大学の教授は、新庁舎に整備する健康交流機能のキーマンであり、本市にも足を運んでもらっている。職員や医師会等との議論も盛り上がっており、大学や関係者と連携してソフト事業について検討している。

サンテレビでは「ヘソノオノウタ」や西脇小学校のオーケストラ部等を紹介する西脇の特集番組が放映される。ぜひ、ご覧いただきたい。

近年は子どもたちの活躍が目覚ましい。プロ野球のドラフト1位の選手は西脇出身で、会見時には百数十名の地域の方が集まった。芳田小学校出身の二人は水泳と柔道で東京オリンピックを目指している。数学・理科甲子園ジュニア2018では、県大会で西脇南中学校の生徒が準優勝し、全国大会に出場した。全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会では、西脇東中学校の1年生が最優秀賞に選ばれた。

このように、次の世代が着々と育っている。皆さんに議論いただいた総合計画は、彼ら、彼女らがこのまちで活躍するための羅針盤となる。

委員の皆さんには2年にわたって協力いただいたこと、改めてお礼を申し上げます。また今後の更なる御協力をお願いしたい。

#### < 4 その他 >

事務局

熱心な議論に感謝申し上げます。総合計画に係る審議については一区切りとなるが、新市まちづくり計画の検討のため、来年度も1、2回程度の会議の開催を予定している。引き続きご協力をお願いしたい。

#### < 閉会 >



問合せ先	西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014
------	---